

事業番号	37
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	湖西市駅伝大会				担当課	スポーツ振興課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度		担当係	スポーツ振興係	
総合計画	めざすまちの姿	1 人が育つまち					
	目標	⑥ 学習・スポーツ活動の環境を充実する（生涯学習・スポーツ振興）					
	成果指標	市民のスポーツ実施率		中間目標 (H27)	52%	最終目標 (H32)	57%
予算区分	一般会計	10 款 教育費	7 項 保健体育費	2 目	スポーツ振興費		
	細事業	309 スポーツ大会費（湖西市駅伝大会）					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令	スポーツ基本法第2条					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的(何のため)	競技力向上と日頃の運動不足の解消並びに市民の触れ合いを深め、心身の健康を図る。						
内容(概要)	参加資格：一般・高校男子・一般女子及び高校女子・中学男子・中学女子・特別参加 コース：7区間						
これまでの改善・見直しの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・過去数回、選手の安全確保のため警察と協議をし、コース変更をしている。 ・平成22年度 旧新居町と合併により、白紙状態からコースの構築を行った。また、部門の副賞数を減らし、コスト削減を行った。 ・平成23年度 一般参加（市民）が参加しやすくするための特別参加（市外）参加者に制限を設けた。 						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	1,851	1,966	2,098	(内訳)
	決算	1,670	1,593		補助費等(報償費) 124
財源内訳	国庫支出金				補助費等(借上料) 380
	県支出金				物件費(消耗品費等) 1,089
	地方債				1,593
	その他				
	一般財源				
職員人件費		3,303	3,410	3,134	人工 0.4 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

	内容	単位		平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
		チーム数		目標	実績	目標	
活動指標	一般参加部門数		目標	90	90	90	102%
			実績	120	92		
		目標					
		実績					
実績・改善	平成23年度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を共に主催する体育協会の専門的知識、長年の経験からのノウハウにより協議をし、駅伝コースを決定した。 ・大会は公道で行うことにより参加者の身の安全を守るため、警察・消防・民交に指導、助言、協力を依頼する。 ・参加チームの募集については、「広報こさい」に掲載募集を行い、毎年募集定員を上回る申し込みがある。 ・監督者会議等は、大会運営統一事項の確認、中継所ごとの注意点の確認を行い、参加者の身の安全を守るスムーズな大会運営に必要不可欠である。 					
	課題・問題点となった事項	市外チームの申し込みが多く、市内チームがエントリー出来ないという苦情があった。					
	どう対処したか	市外チームの参加制限を行った。					
	改善点	市外チームの参加制限を行うための手段として、参加チームが多数の場合、抽選により決定することとした。					効果額 H24-H23 (千円)
自己評価	事業目的の達成状況	参加料の高い市外チームの出場チームを制限したことにより、収入は減額となったが、市内チームが参加しやすくなった。					
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	市内で開催される唯一の駅伝大会であり、競技力の向上と日頃の運動不足を解消、市民のふれあいの場がなくなることで、スポーツの持つエネルギー（生活への活力）が失われる。					
	判定	A 継続	より一層の充実を図り実施		事業主体	市	
	判定理由	ウインタースポーツとして半世紀定着してきた市駅伝大会は、人気のある事業で多くの市民ランナーが参加することから、市が継続して事業を実施する必要がある。					
今後の方向性	新居町が合併した年にコースの見直しをしたが、コースの外れた地域からルート変更の要望もあることから、参加しやすい距離、チーム編成を考慮し、関係機関との協議をしながら見直しを図っていく。						